

総合人間科はどのように役立つか

速水敏彦 吉田俊和 田畑治
安彦忠彦¹⁾ 山田孝²⁾

問題

名古屋大学教育学部附属中・高等学校では「生徒一人ひとりの目的意識への働きかけ、自己発見・自己拡大につながる学習体験などを通して、自分の人生を自覚的に選択していく力を育てることが重要な課題である」*との考えから平成7年度より「総合人間科」が設置された。そして、附属中・高等学校ではこの新教科を、「人類が直面している課題を念頭に置き、学習における共同化、社会と結びつき地域に出ていく学習、生徒の自主的活動への発展を視野に入れた学校文化・学校行事重視等、学習の質の転換を図りながら、教官全員の参加によって総合的に展開」*してきた。

ところで、教師側が総合人間科を、彼らが熱望する教育目標を実現させる教科だと考えたとしても、学習者側がそれをどう受けとめているかが問題であろう。これまでに、速水ら(1996)による総合人間科の学習動機づけの検討などがなされてきたが、今回は生徒たちが総合人間科を学ぶことがどのように役立つと考えているかという視点から調査的検討を試みようとする。「どのように役立つか」という実利性を考えるにあたっては、総合人間科がめざす生徒像というものと密接な関係があろう。それについて「①現代の課題を、さまざまな体験を通して自らの問題とし、主体的に学びながら、表現し、友人と共に学びあうことができる生徒像、②自分の人生を社会と重ね合わせて考え、未来に向けて自覚的に行動していく生徒像」*と記載されている。すなわち、総合人間科の授業によって生徒が主体的、協調的に学習することになること、さらに自分の将来や現実社会をじっくり見据えて学ぶようになることが目指されているように思わ

れる。

前原(1996)は、教科によって子どもが認知する学習の有益性が異なることに着目し、有益性認知という概念を提案している。ここで扱うのはその提案に沿うものである。その研究では、「大人になったときに役に立つ教科は」とか、「将来いろいろなことを自分で勉強するときに役立つ教科は」というように、小学6年生に様々な有益性の項目を呈示して教科名を尋ねる形式をとっている。その結果、半数以上の項目で国語が最頻値を示す項目としてあげられるという特徴的な結果が示された。ただし、この結果の妥当性については、項目のサンプリングが的確なものであったかどうかの疑いがないわけではない。すなわち、国語の有益性につながる項目を初めから相対的に多く使用していたように思われる。そこで、本研究では他の教科の効用もかなり意識して幅広く項目を収集することにした。

通常、各教科を学ぶことによって、それぞれ独立した有益性が想定されているように思われる。すなわち、たとえば、算数ならば「計算ができるようになる」とか、社会科ならば「世界の地名がわかるようになる」といったことである。しかし、総合人間科はどの教科にも共通するような基礎的な能力の育成が想定されている。その有益性を生徒がどのようなものとして受けとめているかを明らかにするのが本研究のねらいである。また、教育者側が意図するような有益性が学習者側に意識されないとすれば、カリキュラムや教え方の問題があるかもしれない。その意味で本研究は総合人間科の授業が適切になされているかどうかを検討する手がかりにもなる。

しかし、総合人間科といっても各学年でそれぞれ異なるテーマを掲げており、その有益性も幾分異なることが予想される。平成8年度の各学年のテーマは以下のようである。中1：生き方Ⅰ（出会いから学ぶ 人と地域から生き方を探る） 中2：生命と環境Ⅰ（生命・環境） 中3：平和 国際理解 人権Ⅰ（平和を考える 体験を通して考える国際理解） 高1：生命と環境Ⅱ（生命と環境 地球を守るネットワーク） 高2：平和 国際理

*平成8年11月28日に名古屋大学教育学部附属中・高等学校から配布された「平成8年度研究開発学校実施調査」による。

1) 名古屋大学教育学部附属中・高等学校校長

2) 名古屋大学教育学部附属中・高等学校教諭

解 人権Ⅱ（国際理解と平和・人権 命ど宝 沖縄の心から平和を学ぶ） 高3：生き方Ⅱ（自立を求めて生き方を考える～社会と自分の進路～）

方法

被調査者：名古屋大学教育学部附属中・高等学校生徒
有効被調査者数は中1（男子37名，女子38名），中2（男子36名，女子39名），中3（男子26名，女子28名），高1（男子55名，女子56名），高2（男子41名，女子58名），高3（男子33名，女子41名）であるが，項目によってはこの人数よりも若干少ない場合もあった。

調査内容：IとⅡの2部に分かれているが，前半部のIは教科学習がどのように役立つかについて述べられた43項目（項目は表1などに掲載）について10教科の中から，最も役立つ科目を選択させるものである。その10教科とは国語，数学，社会科，理科，英語，家庭科，音楽，美術，体育，総合人間科である。実際には高等学校の教科はもっと分化しているが，複雑化しすぎるのでこの10のカテゴリーで尋ねた。

後半部のⅡではIとまったく同一の項目を使って，総合人間科だけについて5段階評定尺度により役立つと思う程度を尋ねた。IとⅡの質問を重ねることは冗長にみえるかもしれないが，強制選択的なIで総合人間科が選択されたとしても，それは相対比較によるものであり，絶対的な有益性を意味するⅡと異なることも予想されるからである。

調査方法：担任教師が集団的に実施した。

実施時期：1997年2月および3月

結果

1. 選択率からみた分析

表1は各学年別に最も役立つ科目として選択率が最も高かった教科およびその選択率を示したものであり，表2は表1と重複する部分もあるが，総合人間科だけについての選択率を示したものである。表中では以下のように略記している。国：国語，数：数学，社：社会科，理：理科，英：英語，家：家庭科，音：音楽，美：美術，体：体育，総：総合人間科。まず，表1ですべての学年で総合人間科が最高の選択率を示しているのは「5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ」，「11. 人前で話す力を育成するのに役立つ」，「15. 将来の生き方を考えるのに役立つ」，「17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ」，「34. 人間とは何かを知るのに役立つ」，「35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」の6項目である。ただし，項目34では高1において総合人間科と社会科の選択率は同一である。次に1つの学年以外

は総合人間科が最高の選択率を示した項目としては「7. 人間性を豊かにするのに役立つ」，「9. 話題を豊富にするのに役立つ」があげられる。前者に関しては高1では総合人間科のかわりに音楽の選択率が最も高かった。また，高2では総合人間科と音楽が同率であった。後者は高2で社会科があげられている。さらに6学年のうち4学年で総合人間科が最高の選択率を示しているのは「2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」の項目である。一方，他の2学年とは高1と高3で，いずれも体育がそのかわりに最高の選択率を占めている。

次に他の教科の選択率が高い項目についてみてみるとまず，国語が6学年をとおして最高の選択率を示したのは「21. 上手に文章表現する力をつけるのに役立つ」，「32. 読解力をつけるのに役立つ」の2項目である。また，「20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ」は中1と中2では総合人間科が最高選択率の教科となっているが，中3以降の4学年では国語となっている。「22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ」は中1，中2，高2，高3では国語の選択率が最も高く，中3では総合人間科が，高1では総合人間科と国語が同率となっている。さらに「29. 多くの言葉を知るのに役立つ」でも中1，中2，中3，それに高3で国語の選択率が最高となっている。他の2学年では国語のかわりに英語があげられている。また，「41. 推理能力を高めるのに役立つ」も5つの学年で国語が最高選択率となっている。このようにかなりの項目で国語の有益性が指摘されたという事実は先の前原（1996）の結果に通じるものがある。

数学が6学年をとおして最も高い選択率となっているのは「25. ひらめきをよくするのに役立つ」，「36. 計算能力を高めるのに役立つ」であり，さらに「24. 受験の点数をあげるのに役立つ」でも高3以外の学年で数学が最も多く選択されているのは興味深い。

次に社会科に関しては「12. 政治的関心を高めるのに役立つ」，「13. 社会問題の解決に役立つ」，「28. 未来の社会を予測するのに役立つ」，「42. ニュースを理解するのに役立つ」の項目ですべての学年で最高選択率を占めている。また「27. 他の国々を理解するのに役立つ」は高3以外で最も多く社会科が選択されている。高3では英語がそれに代っている。さらに「1. 善悪の判断するのに役立つ」は中2，高1，高2の3学年で社会科が最高選択率を示していた。その他の学年では総合人間科がそれに該当した。

また，「30. 科学的思考力を育てるのに役立つ」，「33. 地球のしくみを知るのに役立つ」，「37. 生命に関する常識として役立つ」の3項目では，全学年共通に理科の選択率が最も高かった。

表1 選択率が最も高かった教科とその選択率

数値は%

項 目	中 学			高 校		
	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
1. 善悪の判断をするのに役立つ	総 (56.8)	総 (45.6)	社 (49.0)	社 (44.3)	社 (31.9)	総 (36.2)
2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ	総 (62.2)	総 (51.4)	総 (47.9)	体 (35.8)	総 (41.7)	体 (42.9)
3. 忍耐力をつけるのに役立つ	体 (52.7)	体 (29.4)	体 (53.2)	体 (41.0)	体 (33.0)	体 (49.3)
4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ	総 (56.2)	総 (38.0)	国家(29.2)	総 (29.5)	総 (41.5)	総 (32.4)
5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ	総 (52.8)	総 (43.7)	総 (42.6)	総 (36.5)	総 (38.0)	総 (33.3)
6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ	体 (38.9)	体 (43.1)	体 (47.9)	体 (54.1)	体 (36.8)	体 (49.3)
7. 人間性を豊かにするのに役立つ	総 (55.7)	総 (38.6)	総 (34.0)	音 (28.4)	総音(27.1)	総 (23.9)
8. 生活の知恵を形成するのに役立つ	家 (56.8)	家 (37.0)	家 (44.7)	家 (47.2)	家 (44.2)	家 (53.4)
9. 話題を豊富にするのに役立つ	総 (32.9)	総 (37.5)	総 (33.3)	総 (28.6)	社 (30.5)	総 (18.6)
10. 多くの友人をつくるのに役立つ	総 (72.2)	総 (45.8)	総 (37.2)	体 (36.9)	体 (35.5)	体 (45.1)
11. 人前で話す力を育成するのに役立つ	総 (72.6)	総 (56.8)	総 (47.1)	総 (51.9)	総 (51.5)	総 (58.6)
12. 政治的関心を高めるのに役立つ	社 (83.3)	社 (82.4)	社 (92.3)	社 (85.1)	社 (74.7)	社 (84.3)
13. 社会的問題の解決に役立つ	社 (71.6)	社 (56.2)	社 (92.0)	社 (57.9)	社 (65.6)	社 (58.6)
14. 余暇を楽しむのに役立つ	音 (40.9)	音 (32.9)	音 (46.9)	音 (36.1)	体 (30.2)	音 (34.8)
15. 将来の生き方を考えるのに役立つ	総 (80.6)	総 (66.7)	総 (38.8)	総 (52.4)	総 (43.8)	総 (60.9)
16. 健康を維持するのに役立つ	体 (84.0)	体 (77.3)	体 (95.9)	体 (72.1)	体 (65.3)	体 (75.0)
17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ	総 (70.7)	総 (61.1)	総 (59.6)	総 (60.4)	総 (47.9)	総 (50.0)
18. 衣食住を豊かにするのに役立つ	家 (90.4)	家 (69.4)	家 (83.7)	家 (78.9)	家 (67.7)	家 (76.7)
19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ	家 (74.3)	家 (59.5)	家 (63.3)	家 (63.0)	家 (59.0)	家 (73.2)
20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ	総 (53.3)	総 (50.0)	国 (44.7)	国 (41.3)	国 (47.9)	国 (36.1)
21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ	国 (86.7)	国 (74.3)	国 (87.8)	国 (77.1)	国 (71.9)	国 (73.6)
22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ	国 (34.3)	国 (41.9)	総 (34.1)	総国(26.6)	国 (35.1)	国 (35.8)
23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ	美 (48.6)	総 (33.3)	総 (39.1)	美 (39.3)	美 (26.3)	美 (33.3)
24. 受験の点数をあげるのに役立つ	数 (38.9)	数 (47.8)	数 (39.5)	数 (45.4)	数 (34.8)	英 (34.3)
25. ひらめきをよくするのに役立つ	数 (48.6)	数 (49.3)	数 (74.5)	数 (62.9)	数 (59.8)	数 (54.3)
26. 論理的に考える力をつけるのに役立つ	国 (36.5)	数 (31.4)	数 (29.4)	社 (38.5)	数 (30.9)	数 (49.3)
27. 他の国々を理解するのに役立つ	社 (86.7)	社 (58.1)	社 (58.8)	社 (58.2)	社 (43.8)	英 (39.7)
28. 未来の社会を予測するのに役立つ	社 (75.7)	社 (53.4)	社 (75.0)	社 (56.5)	社 (55.8)	社 (61.2)
29. 多くの言葉を知るのに役立つ	国 (46.0)	国 (48.6)	国 (55.3)	英 (48.2)	英 (46.9)	国 (39.1)
30. 科学的思考力を育てるのに役立つ	理 (89.0)	理 (76.4)	理 (92.0)	理 (80.9)	理 (68.1)	理 (75.7)
31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ	英 (90.7)	英 (91.8)	英 (92.2)	英 (83.6)	英 (76.0)	英 (83.1)
32. 読解力をつけるのに役立つ	国 (89.2)	国 (80.6)	国 (85.7)	国 (74.6)	国 (75.5)	国 (71.8)
33. 地球のしくみを知るのに役立つ	理 (46.5)	理 (47.1)	理 (70.0)	理 (61.8)	理 (66.3)	理 (61.2)
34. 人間とは何かを知るのに役立つ	総 (69.1)	総 (80.6)	総 (62.2)	総社(37.0)	総 (39.6)	総 (50.0)
35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ	総 (47.8)	総 (65.3)	総 (66.7)	総 (51.4)	総 (48.4)	総 (37.7)
36. 計算能力を高めるのに役立つ	数 (98.6)	数 (87.7)	数 (88.7)	数 (88.0)	数 (83.1)	数 (87.7)
37. 生命に関する常識として役立つ	理 (50.7)	理 (39.7)	理 (68.8)	理 (61.5)	理 (59.4)	理 (62.0)
38. 簡単な機械を修理するのに役立つ	家 (65.2)	家 (71.2)	家 (70.0)	理 (37.1)	理 (42.9)	理 (50.0)
39. 旅行の時に役立つ	社 (57.1)	社 (38.8)	英 (37.0)	英 (38.7)	英 (44.1)	英 (50.0)
40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ	美 (88.9)	美 (86.7)	美 (85.7)	美 (82.6)	美 (78.1)	美 (87.5)
41. 推理能力を高めるのに役立つ	国数(26.7)	国 (38.0)	国 (32.6)	数 (40.0)	国 (39.1)	国 (37.1)
42. ニュースを理解するのに役立つ	社 (73.2)	社 (43.2)	社 (80.0)	社 (63.3)	社 (61.1)	社 (63.9)
43. 日曜大工をするのに役立つ	家 (74.3)	家 (70.8)	家 (63.8)	家 (43.5)	家美(30.1)	美 (37.3)

総合人間科はどのように役立つか

表2 総合人間科が最も役立つ教科として選択された割合

数値は%

項 目	中 学			高 校		
	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
1. 善悪の判断をするのに役立つ	56.8	45.6	14.3	23.6	29.7	36.2
2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ	62.2	51.4	47.9	30.3	41.7	25.7
3. 忍耐力をつけるのに役立つ	16.2	19.1	21.3	9.5	17.0	7.0
4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ	56.2	38.0	22.9	29.5	41.5	32.4
5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ	52.8	43.7	42.6	36.5	38.0	33.3
6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ	8.3	15.3	2.1	7.3	8.4	8.2
7. 人間性を豊かにするのに役立つ	55.7	38.6	34.0	24.8	27.1	23.9
8. 生活の知恵を形成するのに役立つ	12.2	26.0	23.4	10.2	11.6	6.9
9. 話題を豊富にするのに役立つ	32.9	37.5	33.3	28.6	20.0	18.6
10. 多くの友人をつくるのに役立つ	72.2	45.8	37.2	4.9	24.7	7.0
11. 人前で話す力を育成するのに役立つ	72.6	56.8	47.1	51.9	51.5	58.6
12. 政治的関心を高めるのに役立つ	13.9	13.5	1.9	9.3	9.5	1.4
13. 社会的問題の解決に役立つ	20.3	34.3	2.0	27.1	14.6	24.3
14. 余暇を楽しむのに役立つ	5.6	8.6	8.2	10.2	4.2	7.3
15. 将来の生き方を考えるのに役立つ	80.6	66.7	38.8	52.4	43.8	60.9
16. 健康を維持するのに役立つ	4.0	2.7	0.0	3.6	2.1	2.8
17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ	70.7	61.1	59.6	60.4	47.9	50.0
18. 衣食住を豊かにするのに役立つ	2.7	13.9	4.1	7.3	3.2	2.7
19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ	8.1	9.5	8.2	8.3	5.7	2.8
20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ	53.3	50.0	34.0	37.6	29.2	33.3
21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ	10.7	20.3	8.6	12.7	14.6	11.1
22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ	28.6	28.4	34.1	26.6	21.7	16.4
23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ	20.8	33.3	39.1	16.8	19.0	16.7
24. 受験の点数をあげるのに役立つ	6.9	4.5	2.3	3.7	3.3	11.4
25. ひらめきをよくするのに役立つ	9.7	13.7	10.6	5.7	5.2	7.1
26. 論理的に考える力をつけるのに役立つ	10.8	15.7	11.8	9.3	7.2	7.0
27. 他の国々を理解するのに役立つ	2.7	14.9	13.7	11.8	15.6	5.9
28. 未来の社会を予測するのに役立つ	13.5	27.4	8.3	18.5	12.6	16.4
29. 多くの言葉を知るのに役立つ	4.1	8.3	0.0	3.6	5.2	2.9
30. 科学的思考力を育てるのに役立つ	2.7	8.3	6.0	5.5	3.2	2.9
31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ	2.7	4.1	3.9	3.6	6.3	1.4
32. 読解力をつけるのに役立つ	1.4	2.8	0.0	5.5	1.0	4.2
33. 地球のしくみを知るのに役立つ	4.2	31.4	8.0	15.5	3.2	9.0
34. 人間とは何かを知るのに役立つ	69.1	80.6	62.2	37.0	39.6	50.0
35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ	47.8	65.3	66.7	51.4	48.4	37.7
36. 計算能力を高めるのに役立つ	0.0	4.1	3.8	2.8	5.3	2.7
37. 生命に関する常識として役立つ	16.9	35.6	10.4	8.3	12.5	12.7
38. 簡単な機械を修理するのに役立つ	2.9	8.2	0.0	6.7	6.6	2.9
39. 旅行の時に役立つ	4.3	11.9	2.2	5.7	9.7	10.0
40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ	2.8	6.7	2.0	6.4	6.3	1.4
41. 推理能力を高めるのに役立つ	20.6	14.1	11.6	9.5	6.5	7.1
42. ニュースを理解するのに役立つ	9.8	13.5	2.0	7.3	10.5	5.6
43. 日曜大工をするのに役立つ	4.3	6.9	6.4	5.6	5.4	10.0

英語の選択率が全学年で最も高かったのは「31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ」のみであった。「39. 旅行の時に役立つ」は中3から高3までの4学年で英語が最も多く選択されていた。一方、中1と中2ではこの項目について社会科を最も多く選択していた。学年が高まるにつれて、外国旅行が意識されるのかもしれない。

家庭科は「8. 生活の知恵を形成するのに役立つ」「18. 衣食住を豊かにするのに役立つ」「19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ」の3項目ですべての学年にわたって最高の選択率を占めていた。また、「43. 日曜大工をするのに役立つ」も高3以外の学年で家庭科が最も多く選択されていた。おもしろいのは「38. 簡単な機械を修理するのに役立つ」で中学生では家庭科が選択され、高校になると理科が選択される傾向が認められた。

音楽がすべての学年で最高の値を示す項目は見当たらなかったが、「14. 余暇を楽しむのに役立つ」では高2が体育であった以外、5学年で音楽があげられた。

美術は「40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ」で全学年共通に最も多く選択されていた。他には「23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ」で、中1、高1、高2、高3では美術を最も多く選択していた。他方、中2と中3では総合人間科が該当した。

最後に体育に関しては「3. 忍耐力をつけるのに役立つ」「6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ」「16. 健康を維持するのに役立つ」で全学年において最も多く選択されていた。また「10. 多くの友人をつくるのに役立つ」では高校の3学年で体育を最も多く選択していた。しかし、中学のどの学年でも総合人間科を最も多く選択していた。

次に表2からは以下のようなことがわかる。第1は総合人間科は極めて多面的な有益性が指摘できることである。どの項目をみても被験者からまったく選択されないといったものはなく、幅広く役立つと認識されていることである。

第2には高校生よりは中学生で総合人間科が役立つと考える傾向が強いことである。特に統計的検定をしたわけではないが、項目2, 5, 7, 9, 10, 17, 20, 22, 23, 34, 41はそのような傾向が認められる。特に初めて総合人間科を経験する中1で高い項目もある(項目2, 10, 11, 15など)。

さらに第3に総合人間科で具体的に扱っている内容に左右されていると思われる項目が指摘できる。たとえば「15. 将来の生き方を考えるのに役立つ」が中1や高3で高いのは彼らは「生き方」を主題にした総合人間を学習しているためと思われる。また、「生命と環境」を主

題としている中2では「32. 生命に関する常識として役立つ」で選択率が相対的に高い。また、高2で「2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」や「4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ」などで他の高校の学年に比べて選択率が高いのは「平和・国際理解・人権」を主題にしているためと推測される。

2. 評定尺度に基づく分析

次に総合人間科に関して評定尺度法で有益性を尋ねた結果についてみてみよう。表3は中学生について学年別、性別にそれぞれの項目の平均値を示し、学年(3)×性(2)の分散分析結果もあわせて示したものである。表4は同様のことを高校生生のデータで行ったものである。

まず、中学生についてみると、どの群でも平均値が3.0以上をとっているのは「20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ」「35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」の2項目のみである。中3の男子以外の群で平均値が3.0以上というのは「2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」「4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ」「7. 人間性を豊かにするのに役立つ」「11. 人前で話す力を育成するのに役立つ」「13. 社会的問題の解決に役立つ」「15. 将来の生き方を考えるのに役立つ」「17. 物事を自分で育成していく力の育成に役立つ」「21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ」「22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ」「23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ」「27. 他の国々を理解するのに役立つ」「28. 未来の社会を予測するのに役立つ」「34. 人間とは何かを知るのに役立つ」「37. 生命に関する常識として役立つ」「42. ニュースを理解するのに役立つ」の15項目である。一方、中3の男子は全体的に総合人間科の有益性を低く評価している傾向がみられる。

そこでまず、学年差であるが、Tukeyの下位検定の結果、特に中3が中1、中2に比べて、平均値が目立って有意($p < .05$)に低い項目として「1. 善悪の判断をするのに役立つ」「15. 将来の生き方を考えるのに役立つ」「28. 未来の社会を予測するのに役立つ」「34. 人間とは何かを知るのに役立つ」「37. 生命に関する常識として役立つ」「42. ニュースを理解するのに役立つ」の5項目が認められた。また、中1が中2、中3に比べて平均値が有意に高い項目は「4. 他人への思いやりを育てるのに役立つ」「10. 多くの友人をつくるのに役立つ」「11. 人前で話す力を育成するのに役立つ」であった。これは教科の内容そのものからくる差というよりは、中1の生徒が初めて総合人間科という科目の学習

総合人間科はどのように役立つか

表3 有益性の尺度評定値の平均値および分散分析結果（中学生）

	中1		中2		中3		分散分析結果（F値）		
	男	女	男	女	男	女	学年	性	学年×性
1. 善悪の判断をするのに役立つ	3.1	3.2	3.3	3.3	2.2	2.9	8.57**	2.52	1.71
2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ	3.7	4.1	3.7	3.7	2.8	4.0	2.89	9.87**	6.01**
3. 忍耐力をつけるのに役立つ	2.6	3.0	2.6	2.9	2.5	3.0	0.03	7.03**	0.22
4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ	3.5	3.8	3.1	3.2	2.3	3.1	13.13**	5.86*	1.34
5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ	3.0	3.4	3.2	2.9	2.1	3.2	3.67*	5.28*	5.62**
6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ	2.4	2.4	2.9	2.8	1.8	2.5	5.49**	0.69	1.54
7. 人間性を豊かにするのに役立つ	3.8	4.1	3.5	3.6	2.8	3.6	5.31**	4.63*	1.52
8. 生活の知恵を形成するのに役立つ	3.3	3.4	3.3	3.3	2.7	3.3	1.16	1.57	1.06
9. 話題を豊富にするのに役立つ	2.8	3.2	2.9	3.2	2.7	3.5	0.11	7.13**	0.85
10. 多くの友人をつくるのに役立つ	3.4	3.7	2.8	2.7	2.2	3.0	16.47**	3.42	2.33
11. 人前で話す力を育成するのに役立つ	3.9	4.4	3.5	3.6	2.7	4.1	9.98**	13.37**	5.94**
12. 政治的関心を高めるのに役立つ	2.9	3.2	3.1	3.1	2.0	3.2	4.19*	6.97**	4.03*
13. 社会的問題の解決に役立つ	3.3	3.3	3.6	3.6	2.3	3.3	6.36**	3.32	3.82*
14. 余暇を楽しむのに役立つ	2.4	2.4	2.4	2.2	1.7	2.2	2.61	0.02	1.38
15. 将来の生き方を考えるのに役立つ	3.5	4.4	3.9	3.9	2.5	3.5	14.30**	13.38**	4.20*
16. 健康を維持するのに役立つ	2.4	1.9	2.2	2.6	2.0	2.4	1.54	0.75	3.80*
17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ	3.4	3.9	3.5	3.8	2.6	3.9	2.69	17.04**	3.56*
18. 衣食住を豊かにするのに役立つ	2.4	2.3	2.4	2.7	2.2	2.7	1.22	2.48	1.49
19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ	3.1	2.8	3.0	3.1	2.3	3.1	1.27	1.19	4.37*
20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ	3.6	4.5	3.8	3.9	3.0	4.0	4.69*	17.77**	3.77*
21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ	3.3	3.9	3.3	3.6	2.5	3.6	3.72	20.98**	2.37
22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ	3.7	4.1	3.7	3.9	2.7	4.0	3.67*	13.70**	4.88*
23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ	3.2	3.1	3.6	3.6	2.4	3.4	5.83**	2.56	4.13*
24. 受験の点数をあげるのに役立つ	1.9	2.1	1.8	1.9	1.5	2.0	0.76	3.35	0.32
25. ひらめきをよくするのに役立つ	2.9	2.4	3.0	2.6	2.1	3.0	0.60	0.45	6.87**
26. 論理的に考える力をつけるのに役立つ	2.9	3.0	3.1	3.2	2.3	3.3	1.66	5.12*	3.46*
27. 他の国々を理解するのに役立つ	3.2	3.4	3.3	3.4	2.3	3.4	2.99	8.90**	3.21*
28. 未来の社会を予測するのに役立つ	3.1	3.3	3.6	3.5	2.2	3.1	12.75**	3.17	3.36*
29. 多くの言葉を知るのに役立つ	2.8	2.4	2.8	2.7	1.9	3.0	1.05	0.39	10.10**
30. 科学的思考力を育てるのに役立つ	2.9	2.2	3.0	3.0	2.2	2.5	6.04**	0.81	3.52*
31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ	2.7	2.4	1.9	2.2	1.8	2.5	3.82*	0.91	3.72*
32. 読解力をつけるのに役立つ	2.6	2.6	2.5	2.9	1.8	2.8	2.41	6.75*	3.27*
33. 地球のしくみを知るのに役立つ	2.8	2.4	3.3	3.4	1.7	2.6	15.40**	0.48	4.48*
34. 人間とは何かを知るのに役立つ	3.5	3.8	3.4	3.9	2.3	3.5	7.41**	13.20**	1.87
35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ	3.5	3.9	3.8	3.9	3.1	4.3	0.54	10.38**	2.93
36. 計算能力を高めるのに役立つ	2.1	1.8	1.8	2.0	1.5	2.1	0.28	1.10	3.85*
37. 生命に関する常識として役立つ	3.1	3.1	3.3	3.6	2.1	3.1	8.25**	5.49*	3.20*
38. 簡単な機械を修理するのに役立つ	2.1	1.8	1.7	1.8	1.5	1.9	1.29	0.30	2.25
39. 旅行の時に役立つ	2.5	2.6	2.2	2.5	2.0	2.5	1.42	3.01	0.35
40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ	2.1	1.9	1.6	2.1	1.8	2.4	0.75	3.80	2.35
41. 推理能力を高めるのに役立つ	2.6	2.3	2.3	2.6	1.7	2.6	1.40	2.88	5.05**
42. ニュースを理解するのに役立つ	3.1	3.3	3.1	3.4	2.1	3.0	6.31**	5.55**	1.99
43. 日曜大工をするのに役立つ	1.9	1.7	1.4	1.8	1.4	1.8	1.21	1.47	2.06

表4 有益性の尺度評定値の平均値および分散分析結果(高校生)

	高1		高2		高3		分散分析結果(F値)		
	男	女	男	女	男	女	学年	性	学年×性
1. 善悪の判断をするのに役立つ	2.9	2.8	2.6	2.7	2.9	2.9	1.64	0.27	0.25
2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ	3.1	3.1	3.0	3.4	3.3	3.5	1.34	2.20	1.30
3. 忍耐力をつけるのに役立つ	3.0	2.8	2.9	3.2	3.1	2.7	0.66	0.14	1.80
4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ	2.9	3.2	2.6	3.1	3.0	3.2	1.16	6.48*	0.30
5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ	2.8	2.9	2.9	3.1	3.2	3.3	2.68	0.57	0.11
6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ	2.7	2.3	2.2	2.1	2.6	2.4	4.12*	4.64*	0.64
7. 人間性を豊かにするのに役立つ	3.4	3.8	2.9	3.4	3.5	3.9	4.40*	7.27**	0.19
8. 生活の知恵を形成するのに役立つ	3.4	3.2	2.7	2.9	3.0	3.3	4.46*	0.39	1.46
9. 話題を豊富にするのに役立つ	3.4	3.4	2.7	3.0	3.3	3.5	5.80**	1.66	0.30
10. 多くの友人をつくるのに役立つ	2.9	2.8	2.4	2.8	3.1	2.9	1.78	0.02	2.03
11. 人前で話す力を育成するのに役立つ	3.4	3.9	3.3	3.6	3.8	4.0	2.95	4.20*	0.77
12. 政治的関心を高めるのに役立つ	3.1	3.2	2.8	3.0	3.6	3.4	4.49*	0.04	0.49
13. 社会的問題の解決に役立つ	3.3	3.4	2.8	3.0	3.5	3.4	4.62*	0.67	0.52
14. 余暇を楽しむのに役立つ	2.3	2.0	2.1	1.8	2.5	2.1	2.66	5.81*	0.14
15. 将来の生き方を考えるのに役立つ	3.3	3.6	3.0	3.3	3.7	3.9	6.00**	3.63	0.05
16. 健康を維持するのに役立つ	2.2	2.1	2.1	1.7	2.3	1.9	2.24	5.04*	0.74
17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ	3.5	3.5	3.0	3.4	3.4	3.9	3.26*	3.22	1.18
18. 衣食住を豊かにするのに役立つ	2.6	2.3	1.9	1.9	2.3	2.3	8.71**	1.38	1.09
19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ	3.1	2.8	2.5	2.6	2.5	2.9	3.13*	0.02	1.51
20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ	3.8	3.9	3.3	3.6	3.7	3.9	3.16*	1.57	0.02
21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ	3.6	3.9	3.2	3.4	3.5	3.7	3.45*	2.40	0.01
22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ	3.5	3.8	3.1	3.6	3.3	4.0	1.82	9.49**	0.33
23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ	3.3	3.3	2.8	2.8	3.0	3.0	4.27*	0.08	0.04
24. 受験の点数をあげるのに役立つ	1.8	1.9	1.7	1.5	2.1	1.8	1.97	0.61	1.06
25. ひらめきをよくするのに役立つ	2.5	2.3	2.4	2.2	2.6	2.4	0.92	2.00	0.01
26. 論理的に考える力をつけるのに役立つ	3.2	3.1	2.9	3.1	3.1	3.0	0.39	0.00	0.82
27. 他の国々を理解するのに役立つ	3.2	3.2	3.0	3.3	3.2	3.1	0.06	0.79	0.68
28. 未来の社会を予測するのに役立つ	3.3	3.0	2.7	2.7	3.2	3.3	5.03**	0.50	0.78
29. 多くの言葉を知るのに役立つ	2.9	2.9	2.4	2.5	2.8	2.4	4.26*	0.23	1.20
30. 科学的思考力を育てるのに役立つ	3.1	2.3	2.3	2.3	2.5	2.2	4.25*	8.02**	3.14*
31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ	2.1	2.1	2.0	1.9	2.1	2.0	0.22	0.21	0.05
32. 読解力をつけるのに役立つ	2.5	2.7	2.3	2.4	2.4	2.2	1.45	0.11	1.35
33. 地球のしくみを知るのに役立つ	3.0	2.7	2.4	2.5	2.7	2.6	2.74	0.53	0.63
34. 人間とは何かを知るのに役立つ	3.2	3.2	2.9	3.2	3.1	3.2	0.29	0.51	0.36
35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ	3.7	3.9	3.1	3.5	3.3	3.4	5.15**	2.89	0.44
36. 計算能力を高めるのに役立つ	2.3	1.9	2.0	1.6	2.1	1.6	2.63	11.25**	0.19
37. 生命に関する常識として役立つ	3.0	3.1	2.5	2.6	2.7	2.9	5.05**	0.70	0.05
38. 簡単な機械を修理するのに役立つ	2.2	1.8	2.0	1.5	2.2	1.8	2.26	11.79**	0.27
39. 旅行の時に役立つ	2.4	2.1	2.3	2.0	2.6	2.5	2.22	2.11	0.27
40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ	2.1	2.0	2.0	1.7	2.2	1.7	1.53	4.88*	0.78
41. 推理能力を高めるのに役立つ	2.5	2.2	2.4	2.0	2.7	2.0	0.86	10.70**	0.95
42. ニュースを理解するのに役立つ	3.3	3.1	2.9	2.9	3.3	2.9	1.37	1.41	0.84
43. 日曜大工をするのに役立つ	1.9	1.7	2.0	1.4	2.2	1.4	0.92	15.56**	1.83

方法や学習形態に接したことからくる差であろう。次に中2の平均値が中1および中3のそれに比べて有意に高い項目としては「30. 科学的思考力を育てるのに役立つ」「33. 地球のしくみを知るのに役立つ」の2項目があげられる。これは中2の主題が「生命と環境」というものであることに関係していよう。

次に性差であるが、これは表3の分散分析で主効果が示されている項目のすべてで、男子よりも女子の方が「より役立つ」と考えていることを意味している。学年差はないが性差のみがみられた項目としては「3. 忍耐力をつけるのに役立つ」「9. 話題を豊富にするのに役立つ」「17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ」「21. 上手に文章表現する力の育成に役立つ」「26. 論理的に考える力を育てるのに役立つ」「32. 読解力をつけるのに役立つ」であった。ただし、中2は中1や中3ほど大きな性差がみられない傾向があった。

高校生の結果は表4に示されている。ここでもまず、6つの群すべてにおいて平均値が3.0以上の項目に着目すると「2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」「11. 人前で話す力を育成するのに役立つ」「15. 将来の生き方を考えるのに役立つ」「17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ」「20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ」「21. 上手に文章表現する力をつけるのに役立つ」「22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ」「27. 他の国々を理解するのに役立つ」「35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」等であり、中学生の結果に比べて多い。

分散分析の結果、学年差が認められるのは全部で18項目あるが、高2の結果が高1や高3に比べて低いものが多かった。下位検定の結果両者の間に有意差がみられる項目は、「7. 人間性を豊かにするのに役立つ」「9. 話題を豊富にするのに役立つ」「13. 社会的問題の解決に役立つ」「18. 衣食住を豊かにするのに役立つ」「28. 未来の社会を予測するのに役立つ」の5項目であった。一方、高1の平均値が高2、高3の平均値に比べて有意に高いのは「35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」の1項目であった。しかし、なぜこのような学年差が生じるのかについては、主題の内容の相違からは説明しがたい。高2では総合人間科の授業が全体的にあまりうまく実践されていなかったのではないかという推測もなりたちうる。

性差に関しては中学生の場合と異なり、男子の方が有意に高い項目も多かった。すなわち、男子 > 女子で有意差がみられるのは「7. 日常生活での危険を避けるのに役立つ」「14. 余暇を楽しむのに役立つ」「16. 健康を維持するのに役立つ」「30. 科学的思考力を育てるの

に役立つ」「36. 計算能力を高めるのに役立つ」「38. 簡単な機械を修理するのに役立つ」「40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ」「41. 推理能力を高めるのに役立つ」「43. 日曜大工をするのに役立つ」などであるが、いずれも男女とも平均値が低かった。それ故、総合人間科の学習内容と直接関係なく、男子生徒の一般的な意味でのそのような関心の相対的高さのようなものが反映されているように思われる。

一方、男子 < 女子で有意差がみられるのは「4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ」「7. 人間性を豊かにするのに役立つ」「22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ」の3項目でいずれも相対的に高い平均値を示し、総合人間科の学習内容に直接関係するものである。

3. 有益性の因子分析

先の43項目について中・高校生、すべてのデータを主因子法で因子分析した。固有値は19.26, 4.34, 1.29, 1.20, 1.05と減少した。そこで2因子でバリマックス回転した結果が表5である。2因子で全分散の55%ほど説明できるといえる。

表3では項目20から項目3までは第I因子負荷量の高い順に並べられている。この第I因子の中には「20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ」「22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ」など思考力の育成に寄与するという見方、「11. 人前で話す力を育成するのに役立つ」「21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ」という表現力を磨くのに有効という見方、「17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ」「35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」など自己学習能力や自己教育力の育成につながるという見方、さらに「7. 人間性を豊かにするのに役立つ」「2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」「4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ」など人格的側面の育成までも影響するという見方など様々な内容が含まれている。これらは人間としての基礎的、全般的な力の育成の有益性を意味するものと考えられる。

これに対して、第II因子で因子負荷量が高いのは項目38から項目29までである。「38. 簡単な機械を修理するのに役立つ」「36. 計算能力を高めるのに役立つ」「43. 日曜大工をするのに役立つ」などはやや特殊な能力の育成に関わる有益性と考えられる。

人間の能力のうち、よりベースにあるもので生活全般に関係しているようなものが第I因子に含まれ、人間の能力のうち、より表層にあり、比較的狭い特定の領域や事象とだけ結びついたものが第II因子に含まれていると

表5 因子分析結果

項 目	因 子		共通性
	I	II	
20. 自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ	.839	.061	.708
22. 物事を深く考える力をつけるのに役立つ	.830	.126	.704
11. 人前で話す力を育成するのに役立つ	.808	.061	.657
17. 物事を自分で決定していく力の育成に役立つ	.803	.188	.681
35. 疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ	.784	.133	.633
7. 人間性を豊かにするのに役立つ	.769	.160	.617
15. 将来の生き方を考えるのに役立つ	.763	.178	.613
21. 上手に文章表現をする力をつけるのに役立つ	.741	.111	.561
2. 他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ	.724	.119	.540
34. 人間とは何かを知るのに役立つ	.687	.308	.566
4. 他者への思いやりを育てるのに役立つ	.683	.277	.541
13. 社会的問題の解決に役立つ	.677	.278	.536
9. 話題を豊富にするのに役立つ	.676	.251	.520
8. 生活の知恵を形成するのに役立つ	.664	.275	.516
12. 政治的関心を高めるのに役立つ	.653	.285	.509
1. 善悪の判断をするのに役立つ	.647	.358	.548
10. 多くの友人をつくるのに役立つ	.646	.343	.535
27. 他の国々を理解するのに役立つ	.642	.333	.523
28. 未来の社会を予測するのに役立つ	.641	.399	.571
23. 新しいことを創造する力をつけるのに役立つ	.641	.391	.565
26. 論理的に考える力をつけるのに役立つ	.632	.380	.543
5. 人を指導する力を身につけるのに役立つ	.616	.286	.461
42. ニュースを理解するのに役立つ	.597	.323	.460
37. 生命に関する常識として役立つ	.523	.474	.499
19. 実生活ですぐに使える知識として役立つ	.517	.491	.509
3. 忍耐力をつけるのに役立つ	.457	.304	.301
38. 簡単な機械を修理するのに役立つ	.061	.843	.714
36. 計算能力を高めるのに役立つ	.090	.832	.700
43. 日曜大工をするのに役立つ	-.025	.797	.635
16. 健康を維持するのに役立つ	.226	.741	.600
40. 絵やカットを上手に描くのに役立つ	.101	.735	.550
30. 科学的思考力を育てるのに役立つ	.396	.695	.640
24. 受験の点数をあげるのに役立つ	.092	.695	.491
18. 衣食住を豊かにするのに役立つ	.311	.673	.549
41. 推理能力を高めるのに役立つ	.277	.650	.498
31. 外国人と会話する力を育てるのに役立つ	.265	.646	.483
25. ひらめきをよくするのに役立つ	.429	.621	.570
14. 余暇を楽しむのに役立つ	.297	.586	.432
39. 旅行の時に役立つ	.266	.582	.410
32. 読解力をつけるのに役立つ	.443	.566	.518
6. 日常生活での危険を避けるのに役立つ	.395	.565	.475
33. 地球のしくみを知るのに役立つ	.425	.556	.491
29. 多くの言葉を知るのに役立つ	.421	.490	.418
二 乗 和	13.764	9.830	
寄 与 率 (%)	32.01	22.86	

総合人間科はどのように役立つか

表6-1 因子得点の平均と標準偏差（中学生） ()は標準偏差

	1 年		2 年		3 年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
第Ⅰ因子	73.4 (23.9)	84.6 (13.4)	77.8 (19.5)	80.3 (18.0)	56.9 (21.4)	80.2 (13.8)
第Ⅱ因子	27.5 (9.3)	26.0 (8.8)	24.8 (6.4)	27.8 (8.1)	21.5 (8.6)	27.5 (8.6)

表6-2 因子得点の平均と標準偏差（高校生） ()は標準偏差

	1 年		2 年		3 年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
第Ⅰ因子	76.1 (21.6)	77.1 (16.5)	66.6 (23.6)	72.4 (22.8)	76.4 (20.4)	78.1 (17.2)
第Ⅱ因子	26.8 (10.9)	24.4 (10.0)	24.7 (10.5)	21.0 (7.5)	27.7 (13.3)	23.1 (8.4)

みることができる。

4. 因子得点の比較

先の因子分析を基にして2つの因子負荷量の差が.2以下の項目は捨象して、項目得点に基づいた合成得点を作り、これを因子得点とした。従って、第Ⅰ因子得点は項目20, 22, 11, 17, 35, 7, 15, 21, 2, 34, 4, 13, 9, 8, 12, 1, 10, 27, 28, 23, 26, 5, 42の23項目から構成された。一方、第Ⅱ因子得点は項目38, 36, 43, 16, 40, 30, 24, 18, 41, 31, 14, 39の12項目で構成された。

表6-1, 表6-2は中学生と高校生の場合に分けて学年別, 男女別に因子得点の平均値と標準偏差をみたものである。

まず、中学生の結果についてみると、第Ⅰ因子では中3男子だけが特に低くなっているのが目立つ。3年生の総合人間科のテーマは平和・国際理解・人権であるが、男子生徒は有益性を特に低く評価している。しかし、この理由については今のところよくわからない。学年(3)×性(2)の分散分析の結果、学年および性の主効果がみられ(前者は $F = 5.32, p < .01$, 後者は $F = 14.83, p < .001$), 交互作用も($F = 4.61, p < .05$)確認された。学年差は特に中3と中1の間、中3と中2の間に認められ、中1と中2の間にはみられなかった。ただし、この学年差は中3男子の低さが効いているのであって、女子については学年差はないとみた方がよいであろう。また、性差は男子の平均が71.4で、女子が81.8となり、明らかに女子が高かった。第Ⅱ因子に関しても同じような分散分析が施されたが、学年のF値は

0.84, 性のF値は3.49, 交互作用のF値は3.03であり、いずれも有意には到らなかった。

次に高校生の結果をみてみよう。まず、第Ⅰ因子であるが、ここでは高2の男子の平均値が他に比べて低いのが特徴的である。分散分析の結果、学年差だけが有意となった($F = 3.58, p < .05$)。次に第Ⅱ因子に関してはどの学年の平均値も男子の方が女子よりも高くなっている。分散分析の結果も性の主効果が認められた($F = 7.89, p < .01$)。学年差は高2でやや低いように思われるが有意ではなかった。

討 論

この調査結果からみる限り、総合人間科の学習がかなり広範囲にわたって役立つ教科であると認識されていることがわかる。先に速水ら(1996)は学習動機づけの研究で、総合人間科と他の教科の学習動機づけを比較して、総合人間科に対する学習動機づけは他の教科に対する学習動機づけよりも高いものではないことを指摘したが、有益性という観点からは、総合人間科は他の教科に比べて優れたものであることが指摘できる。

問題の箇所掲げた総合人間科が目指す生徒像である主体的かつ協動的な学習者というのは「自分の考えをまとめる力をつけるのに役立つ」「物事を自分で決定していく力の育成に役立つ」「疑問点を自分で調べる力をつけるのに役立つ」「他者との協力の仕方を身につけるのに役立つ」「他者への思いやりを育てるのに役立つ」の評定値が高いことや、そのような科目として総合人間科が多く選択されていたことから、現在、確実に育成され

つつあるということができる。

さらに「将来の生き方を考えるのに役立つ」「生活の知恵を形成するのに役立つ」といった項目への肯定度が高いのは「自分の人生を社会と重ね合わせて考え、未来に向けて自覚的に行動していく生徒像」の育成にもつながっていることを示唆していよう。また、それだけでなく、「人前で話す力を育成するのに役立つ」「上手に文章表現する力をつけるのに役立つ」というような自己表現力を養う上でも有益であることが見出された。

ただし、学年別、男女別に検討すると中学では中3男子が、高校では高2男子が、他の群に比べて総合人間科の有益性をかなり低く評価していることがわかった。中3男子の場合は中3女子ではそのような傾向が全くみられないので男子だけのうけとめ方の問題といえる。ただし、彼らは総合人間科に関連が強い項目だけでなく他の教科に関連する項目に関しても有益性を低く評価していることから、全般的にやや虚無的、退廃的な雰囲気があるのかもしれない。一方、高校の場合は2年は男子だけでなく女子も他の学年に比べてやや評定値が低い傾向にあり、この学年で実施された総合人間科の授業そのものに問題点がなかったかどうか吟味してみる必要がある。

しかし、本研究にはいくつかの問題点も含まれている。その1つはこの結果はあくまで生徒の側に認知された主観的な意識であるという点である。本当に有益であった

かどうかはより客観的な方法で検討される必要がある。すなわち、たとえば、表現力が伸びるということ、総合人間科を実践しない学校を統制群として客観的指標を用いて比較する必要がある。また、有益性は即効的ではないものが多いので、1年なり2年なり総合人間科の授業を受けた生徒を追跡調査して本当の有益性を確認することも大切であろう。さらに、総合人間科の授業を行うことは、それ自体からくる効果だけを目指しているのではない。それが主体的学習に目覚める起爆剤となり、他の教科や教科外の諸活動にもその積極的意識が波及することも期待されていよう。そのような効果の証左を検討することも附属と大学の共同研究の目標の射程にいられておくべきであろう。

引用文献

- 速水敏彦・田畑治・吉田俊和 1996 総合人間科の実践による学習動機づけの変化 名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科— 第43巻 23-35.
- 前原武子 1996 子どもが認知する教科の学習目標 名古屋大学教育学部紀要—教育心理学科— 第43巻 8-12.

(1997年9月16日 受理)

ABSTRACT

How Useful Is Learning Integrated Human Science for Students?

Toshihiko HAYAMIZU, Toshikazu YOSHIDA, Osamu TABATA,
Tadahiko ABIKO and Takashi YAMADA

Since 1995, integrated human science as one of school subjects has been started in the affiliated upper and lower secondary school of Nagoya University for the purpose of stimulating students' learning attitudes. However, we have not known until now how students perceive the implications of learning integrated human science. In the present study, we aimed at examining how the students thought about learning integrated human science from the view of its usefulness. First of all, we gathered a variety of aspects of usefulness in all the school subjects including integrated human science. Out of these, 43 aspects which we regarded as essential was adopted as items. These are, for example, as follows: it is useful for making abundant humanity; it is useful for thinking of their future life. Using these items, two kinds of questionnaire were made. In the first questionnaire, the students were asked to choose what was the most useful school subject from ten alternatives for each item. In the second questionnaire, they were requested to rate the usefulness of integrated human science on 5-point scales for the same items as those in the first questionnaire. Subjects were 254 lower and 284 upper secondary school students.

As a result, integrated human science was chosen the most frequently as the most useful school subjects. Especially it was useful for the following means: growing leaderships; blushing up how to speak in public; thinking of their future life; raising self-decision making ability; fostering ability investigating their questions by themselves. Taking not only the result of the first questionnaire but also that of the second into consideration, we concluded that the students perceived as follows: (1) learning of integrated human science would make them independent and cooperative learners; (2) it would be useful for designing their future in reference to actual society; (3) it might be useful for raising expressive ability.

Exceptionally, however, male students of 9th and 11th graders generally rated the usefulness of integrated human science lower than did the other students. It is necessary for us to make clear the reason in order to increase implications of learning integrated human science.